

現場建方(2階建方)

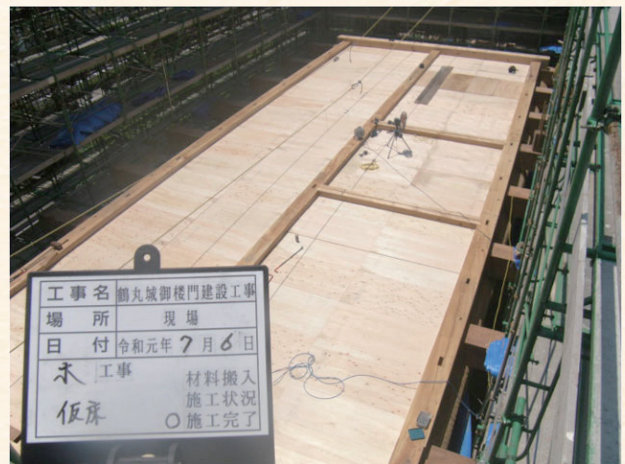
7月5日より2階部分の建方が始まりました。

地元鹿児島県内の大工さんを含め、総勢13名の宮大工さんが作業します。

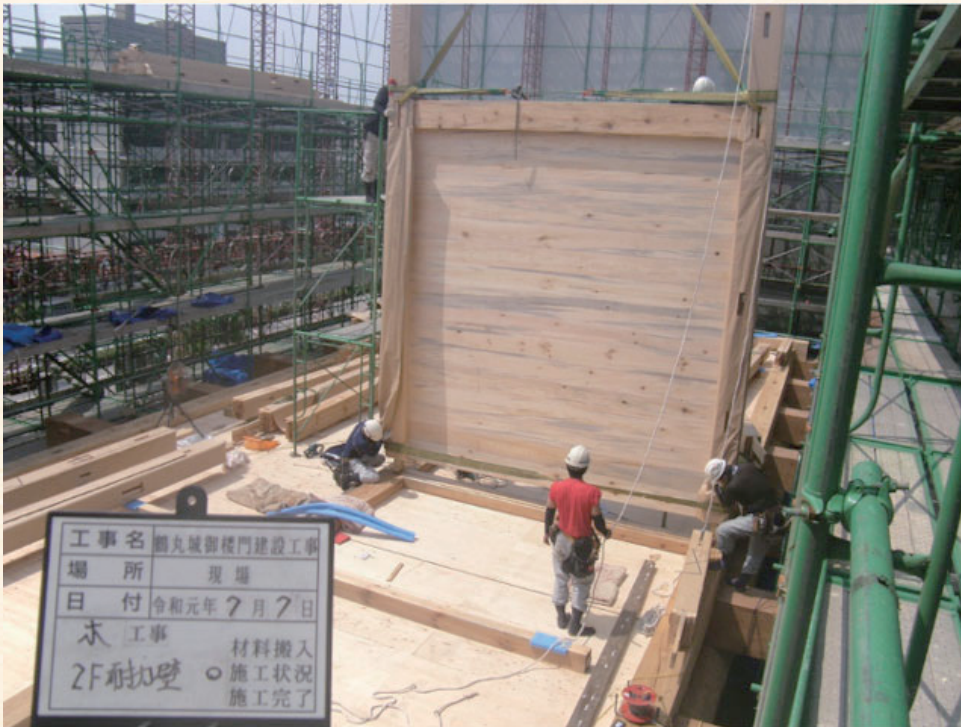
1階部分の棧梁(さんばり)の上に、2階の柱を建てるための柱盤(はしらばん)を組み込んでいきます。



2階柱の建込み作業のため、床に根太(ねだ)を組み、仮の床板を張ります。



2階中央部に設置する耐力壁は、柱を寝かせた状態で、羽目板を建て込んでいきクレーンで起こして納めます。



2階の柱(27.3cm×27.3cm 長さ6m)は、差物(さしもの 30.3cm×21.2cm)を枅穴に差込みながら、順番に建てていきます。



柱が全て建ち並び、落下防止の親綱と安全ネットを設置し、梁を掛け渡す作業の準備が整いました。



地梁(じばり)やうし梁を掛け渡し、2階部分を固めていきます。



うし梁に登り梁(のぼりばり)を架けていきます。



柱の杓に桁(けた 27.3cm×30.3cm)を差しながら、登り梁の上に乗せていきます。

この作業で、2階部分が建ち上がりました。

梅雨時ということで、雨が降る日も多く、木材が濡れないよう、ブルーシートで覆ったり、剥がすのも一苦労です。

次は、屋根の組み立てになります。

